The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	歴史的衣服の複製作品の制作 : ジャンヌ・ランヴァンのローブ・ド・スティル
Author(s)	藤本, 純子
Citation	デザイン理論. 2014, 63, p. 116-117
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/56276
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

歴史的衣服の複製作品の制作
── ジャンヌ・ランヴァンのローブ・ド・スティル ──

藤本純子／大阪樟蔭女子大学

■ 概　要 ■

神戸ファッション美術館と大阪樟蔭女子大学との学館協働事業の一環として，2013年５月から12月にかけて同美術館収蔵の1926-27年のジャンヌ・ランヴァン（Jeanne Lanvin, 1867-1946）のドレスの調査をおこなった。そしてその成果として複製作品およびパターンと縫製手順を示す作品解説書を制作し，同美術館に収めた。

美術館収蔵の歴史的衣服は展示の機会を設け人々に鑑賞されるが，保存の観点等から制約は多い。一方複製作品は身近に広く公開する事が可能であり，より多くの事を体験的に伝え得ると考えられる。

本取組みはオリジナルの衣服の詳細な調査や検証に基づき，実際に触れたり，構成を確かめたりする事のできる展示資料の制作を目指したものである。

オリジナルドレスの制作者とされるジャンヌ・ランヴァンは1890年代より婦人服と子供服を手がけ，1937年にはパリ・オートクチュール協会の会長を務めるなどファッション界に貢献したデザイナーである。現在も続く老舗ブランドLANVINの創設者である。

1920年代の代表的な作品群として1850年代のクリノリンスタイル風なデザイン要素を持つ「ローブ・ド・スティル」と呼ばれる大時代的なドレスがあるが，今回のドレスはその特徴を示している。

■複製作品■

対象としたドレスは歴史的価値のあるものであり，現状を壊さない範囲でその材質，形状，仕様等を詳細に調査した。そして計測データをもとにパターン設計をおこない，立体に組み上げてその構成について検討した。それらの結果を踏まえ，できるだけ実物と類似した素材を使用し，同様の縫製方法によって複製作品を制作した。

材料を右頁に示す。シルクタフタは緯を片寄りとした先染めの織物とし，オリジナルの軽さ，適度な張りとしなやかさ，美しい光沢等を表現できるよう試みた。シルクチュールは柔らかく，暖かみのある編み目を持つ同様のボビンネットチュールとした。またベルベットリボンは現状を参考にランバンブルーの鮮やかな色を染色により表現した。さらにラインストーンとスフレビーズは同時期のヴィンテージビーズを収集し使用した。

各パーツの接ぎはミシン縫製であるが，布の裁ち端の始末，いせ込みやギャザーのためのぐし縫いなど手縫いの部分も多く，熟練した技術力を要する仕立てを再現した。裏側の錘やストラップ，芯地の仕込み，縫い代の形状などもできるだけ忠実に制作した。

■パターンと縫製解説書■

作品の仕様，1/4縮尺のパターン，使用材料，縫製の手順と方法等をまとめたA3版12頁からなる解説書を制作した。

一般来館者が類似のドレスの制作を試みる際の参考とすることを意図し，調査や複製作品制作の取組みをもとにパターンや縫製手順をわかりやすく修整し，まとめた。通常の美術館での展示の際には見る事のできない裏側や重なり，縫い目等を示したり，制作過程の

部分写真を多く掲載するなど作品の構造を理解できるよう配慮した。

■ 材　料 ■

シルクタフタ（黒）	99cm 幅× 6 m
シルクチュール（黒）	180cm 幅× 2 m
麻芯（生成）	92cm 幅× 2 m
ベルベットリボン（青）	1.8cm 幅× 6 m
スプリングホック（黒）	14個
スナップボタン（黒）	2 組
ラインストーン（ダイヤ）	486個
内訳：直径 7 mm ×	9 個
直径 4 mm ×	140個
直径 3 mm ×	232個
直径 2 mm ×	105個
スフレビーズ（パール）	1035個
内訳：直径 7 mm ×	20個
直径 3 mm ×	385個
直径1.5mm ×	630個
おもり（コイン状）約15g	3 個
絹ミシン糸	50番（黒），30，50番（生成）
絹手縫い糸（黒）	
絹穴糸（黒）	
金糸	

■ 協　力 ■

有限会社イドラ
島田商事株式会社
行方工業有限会社

写真１．複製作品（前）

写真２．複製作品（右）

写真３．複製作品（後ろ）

写真４．複製作品（左）